

2020年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

#### ○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

#### ○教育目標

##### 1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育

「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。

##### 2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育

職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。

##### 3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育

時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。

##### 4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

### (2) 学校法人の沿革

- 1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校
- 1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる
- 1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる
- 1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、  
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
- 1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校  
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる
- 1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる
- 1986年 大阪府より専修学校として認可され、  
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める  
アメリカにシアトル校開校
- 1990年 夜間部旅行本科開設
- 1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる  
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる
- 1992年 オーストラリアにメルボルン校開校
- 1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更
- 2001年 東京日本語文化学校開校  
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる
- 2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更
- 2011年 大阪ブライダル専門学校開校
- 2012年 オーストラリアのメルボルン校閉校
- 2013年 東京ブライダル専門学校開校  
 東京日本語文化学校閉校
- 2018年 大阪ホテル専門学校開校  
 大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校
- 2019年 台湾に台北校開校

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2020年4月時点) (単位:人)

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数		摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	<昼間部> 観光科	40	80	1年	43	
				2年	43	
				小計	86	
	ホテル科	40	80	1年	60	
				2年	53	
				小計	113	
	テーマパーク科	60	120	1年	57	
				2年	46	
			小計	103		
総合英語科	20	40	1年	24		
			2年	21		
			小計	45		
エアライン科	80	140	1年	125	※1	
			2年	90		
			小計	215		
鉄道科	40	80	1年	42		
			2年	36		
			小計	78		
昼間部小計	280	540	1年	351		
			2年	289		
			小計	640		
<夜間部> 観光科	—	30	1年	0	※3	
			2年	10		
			小計	10		

	ホテル科	—	30	1年 2年 小計	0 19 19	※3
	テーマパーク科	20	50	1年 2年 小計	17 10 27	※2
	エアライン科	—	30	1年 2年 小計	0 6 6	※3
	夜間部小計	20	140	1年 2年 小計	17 45 62	
東京ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル科	120	240	1年 2年 小計	134 101 235	
	<夜間部> ブライダル科	20	80	1年 2年 小計	10 14 24	※2
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	100	210	1年 2年 小計	75 88 163	※2
	<夜間部> 観光学科	40	120	1年 2年 小計	15 36 51	※2
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	80	200	1年 2年 小計	70 62 132	※2
	<夜間部> ブライダル学科	50	150	1年 2年 小計	24 27 51	※2
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	150	230	1年 2年 小計	161 101 262	※1
	<夜間部> ホテル学科	60	140	1年 2年 小計	52 43 95	※2
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80	140	1年 2年 小計	63 60 123	※1

	<夜間部> テーマパーク学科	40	100	1年 27 2年 34 小計 61	※2
アメリカ・台湾 留学中	東京	—	—	49	
	大阪	—	—	66	
設置校 総合計				1年 999 2年 900 留学中 115 合計 2,014	

※1 1年生の募集定員を増加した学科

※2 1年生の募集定員を減少した学科

※3. 1年生の募集を停止した学科

#### (5) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

##### 【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m <sup>2</sup>	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m <sup>2</sup>	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	565.12 m <sup>2</sup>	1,431,803,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m <sup>2</sup>	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m <sup>2</sup>	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原	3,279.00 m <sup>2</sup>	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m <sup>2</sup>	4,158,256 円	
合計		5,926.13 m <sup>2</sup>	6,375,146,785 円	

##### 【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m <sup>2</sup>	1,371,718,985 円	
東京校B館	1,149.58 m <sup>2</sup>	458,541,199 円	
大阪校1号館	3,063.63 m <sup>2</sup>	1,125,816,517 円	
大阪校2号館	2,520.04 m <sup>2</sup>	568,231,052 円	
大阪校3号館	2,894.79 m <sup>2</sup>	457,401,083 円	
湯河原 構築物	76.76 m <sup>2</sup>	28,002,904 円 7,584,768 円	
合計	13,699.55 m <sup>2</sup>	4,017,296,508 円	

②主な施設設備の取得及びその進捗状況

特になし

## 2. 事業の概要

### <東京>

#### (1) 教育の実績

##### 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、各科に特化した業界英語を強化しました。

また、タブレットと授業支援ツールアプリ「ロイロ」を順次導入しました（2021年度から全科導入）。記録や情報収集が手軽にできるため、受動的な学びではなく学生自身が考え行動する主体的な学び「アクティブラーニング」に大変効果的でした。従来、学生ごとの学力差が大きく見受けられる英語やSPIにおいては、様々なオンライン教材や複数講師による授業運営によってそれぞれの学生に合わせた学習内容を提供しました。その結果、TOEICは昨年度に比べ500点以上の学生が57名増える結果となりました。

##### [企業との連携や課外活動等]

- 1年生全員に対し、例年、入学後の4月に実施していた入学者ホスピタリティ研修を、新型コロナウイルスの影響により延期し、3月に学外日帰にて実施しました。今年度も各科ごとにそれぞれの業界見学を行い、自分が目指す業界の仕事内容や自分自身がどうなりたいのかをよりイメージすることが出来ました。
- ≪観光科≫千葉県館山市、中野区、(株)農協観光の協力のもと、「なかの里・まち連携事業」の一環として、2年生が館山のツアーを企画・準備・添乗までを実施しました。2年生は当日の受付やバス内での観光案内、時間調整などの旅程管理、現地精算などすべてに関わり、運営を行いました。年々、ツアー内容や運営スキルが向上することを目指しています。
- ≪観光科≫台湾研修旅行が中止なり、ハワイ・ヨーロッパ・台湾のオンラインツアーに参加しました。観光業に就く上で必要となる需要が高い国について学ぶとともに、需要が高まっているオンラインツアーで業界の最新商材を学びました。
- ≪ホテル科≫1年生全員が、2月に「ステイマナー研修」を実施しました。横浜ベイホテル東急にご協力いただき、お客様としてではなく従業員として業務を実地研修しました。施設店舗見学、バックスペース見学、テーブルマナーなどを実習しました。
- ≪テーマパーク科≫業界研究として、キッザニア、もてぎ、東京タワーなどの見学を行い、職種への理解を深めました。また、夏休みから後期にかけて首都圏のテーマパークへの企業実習を行い、日頃から学んでいる接客力の向上に努めました。
- ≪エアライン科≫1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト（グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト）を実施しました。全員が英語やクレーム対応を実施しました。航空業界の人事、現場の方も審査員として参加していただき、客観的な評価をいただきました。企業へのサービス提案も実施し、高評価をいただきました。また、その内容が「月刊 AIRLINE」「トラベルジャーナル誌」にも掲載されました。
- ≪総合英語≫1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。今

年はコロナ禍の影響により審査員や観客はいませんでした。Youtube で保護者や教員の方に配信しました。そのことにより、昨年度より多くの方に見ていただくことができ、留学前と留学後のレベルアップの違いを感じていただき高評価をいただきました。

- 《クルーズコース》(一社) 横浜港振興協会のご協力のもと、大さん橋国際客船ターミナルの見学を実施しました。クルーズ旅行の最初と最後には、大さん橋のようなクルーズターミナルを使用するため、施設概要やターミナル職員の業務、ターミナルとクルーズ船、旅行会社との連絡について多くの学ぶ機会をつくることができました。
- 《鉄道科》1年生が、4月より鉄道会社6社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しています。12月には、成果発表として「駅STARTコンテスト」を実施しました。駅実習での経験を振り返り、鉄道業に携わる上で必要となる心構えについて考え、チームに分かれてお客様の接客対応事例を実演し、審査及び表彰を行いました。
- 《鉄道科》2年生が、(公財) 東日本鉄道文化財団「鉄道博物館」のご協力のもと、「運転士シミュレータ講習」の団体受講を実施しました。2年生に学内受講する「鉄道業実務知識」科目の「鉄道乗務員(車掌・運転士)」の技能知識授業に対する成果として実施しました。鉄道博物館ではシミュレータ教室の貸し切りで、全員の学生が初日の「基本(初級)講習」を受講しました。

#### 【東京ブライダル専門学校】

2年間で「成果発表課題解決型学習」を通じて、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。また、ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、英語、手話検定対策、秘書検定対策の授業を1年生に導入しグローバル化、コミュニケーション能力の強化をしました。また、昨年に引き続き、企業の人事担当者をお招きした交流会を本校内で実施し、求人の安定確保に努めました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- 成果発表「模擬人前挙式(1年生)」「バーチャルウェディング(1年生)」「セールススキルコンテスト(2年生)」「卒業制作発表会(2年生)」を実施しました。バーチャルウェディングをクラス別に3件、本校施設を使用して実施しました。実際の婚礼を企画実施し、成功をおさめたことにより、学生の更なる意欲向上に繋がりました。

#### (2) 主な資格の取得実績

資格名称	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	東京ブライダル 専門学校
手話技能検定4級	105名	—
手話技能検定5級	—	127名

みんなの外国語検定 ゴールド	31名	—
みんなの外国語検定 シルバー	35名	—
みんなの外国語検定 ブロンズ	263名	112名
TOEIC 900点以上	3名	—
TOEIC 800点以上	13名	—
TOEIC 700点以上	29名	—
TOEIC 600点以上	30名	—
TOEIC 500点以上	65名	—
国内旅行業務取扱管理者	24名	—
サービス介助士	133名	—
ホテルビジネス実務検定ベーシック 2級	39名	—
レストランサービス技能検定 3級 (学科)	50名	—
レストランサービス技能検定 3級 (実技)	20名	—
ブライダルコーディネーター技能検定 3級	—	70名
フォーマルスペシャリスト検定準 2級	—	49名
AFS フラワースタylist検定	—	85名
メイクセラピー検定 2級	—	53名
姿勢改善アドバイザー資格試験	—	71名

### (3) 奨学金の実績 (2校合算)

#### 【2020年度入学者に対する奨学金】

① 特待生制度 ※対象者：22名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度

② 指定校推薦入学選考：対象者：81名

指定高校からの入学推薦者に対する奨学金

③ AO入学選考：対象者 344名

同選考を受験した入学生に対する奨学金

④ AO選抜生制度 ※対象者：30名

AO合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度

⑤ 英語資格取得奨学金制度 ※対象者：97名

英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

⑥ 家族推薦奨学金：対象者：8名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

#### 【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金※対象者：26名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金



【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年次対象者1名

私費外国人留学生学習奨励費：1年次対象者20名、2年次対象者21名

日本語能力検定1級資格取得奨学金：1年次対象者4名、2年次対象者3名

(4) 就職の実績

- 就職の早期化に対応するため、就職関連の授業を更に強化しました。昨年以上に企業講演やOB業界人の講演を開催し、早くから就職に対する意識付けをしました。また、学生ごとに指導方法を変え、より個に特化した指導の強化に努めました。
- 昼夜間部1年生に対し、12月に「就職セミナー」を行い、模擬面接を実施しました。模擬面接は、志望する企業における採用時期に合わせて学生の編成を行い、実施をしました。

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	東京 ブライダル 専門学校
就職希望者数	243名	95名
就職決定者数	232名	92名
内 関連業界就職者	183名	81名
その他業界就職者	49名	11名

(5) 学生募集 (2021年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校 ※1	<昼間部> 観光科	40名	26名	65.0%
	ホテル科	60名	39名	65.0%
	テーマパーク科	60名	51名	85.0%
	総合英語科	20名	7名	35.0%
	鉄道科	40名	51名	127.5%
	エアライン科	80名	69名	86.3%
	合 計	300名	243名	81.0%
東京ブライダル 専門学校 ※2	<昼間部> ブライダル科	120名	102名	85.0%
	合 計	120名	102名	85.0%
東京校合計	<昼間部>	420名	345名	82.1%

※1. 2021年度生から夜間部テーマパーク科の募集を停止しました。

※2. 2021年度生から夜間部ブライダル科の募集を停止しました。

(6) その他

- 昼間部エアライン科グランドハンドリングコース1年生が、国際航空貨物取扱士検定において国内受験者の中で最高得点を取りました。この資格は国際航空貨物輸送に携わる人の知識やスキルを測り、世界基準に照らして認定される国際資格であり、すべて英語で出題される難関試験です。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校)
- 学生用パソコンの入れ替え購入等により、私立専修学校教育環境整備費助成事業の「教育設備装置整備助成金」として4,043千円を受給することができました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校)
- 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金(専修学校評価促進)」として、400千円(1校200千円)を受給することができました。
- 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、1,276千円を受給することができました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校観光科、東京ブライダル専門学校ブライダル科)
- 継続的かつ安定的に教育研究活動を実施する為、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止することを目的として用品(マスクや温度スクリーニングカメラ等)の購入により、「私立学校新型コロナウイルス感染症対策事業費助成金」として、1,000千円(1校500千円)を受給することができました。

## <大阪>

### (1) 教育の実績

#### 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

職業教育として、企業や行政機関のご協力を得た産学連携プログラムや、企業講演、企業研修を全科で実施し、実践型教育を展開しました。

具体的には、海外オンラインツアー研修やVRを利用した鉄道現場研修、オンラインでの空港研修や英会話講習などを実施し、より実践に近い体験型教育を展開しました。ICTを活用した同時双方向型授業、オンデマンド型授業を全科で導入し、資格対策ではオンデマンドの有効性を確認しました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- (一社)日本旅行業協会主催の「学生と旅行会社が作る海外旅行企画コンテスト」に6チームが参加し、1チームがグランプリ賞(作品名:温泉!ビール!ホットワイン!飲んで元気になるチェコのクリスマス・三都めぐり 7日間)を受賞しました。(旅行科)
- ㈱NOEとの産学連携により、学生企画による旅行商品の企画・提案・プレゼンテーション・パンフレット作製を共同で行いました。この企画は「五感で感じるインドネシアの旅」として商品化に向けて協議中です。(旅行科)
- CKTS㈱とタイアップし、現役のグランドスタッフを派遣いただいたの英語特別講座を4日間実施しました。実際の現場で役立つ英会話を拝聴でき、満足度の高い授業となりました。(エアライン科)
- 京王観光㈱とタイアップして、京王電鉄の運転席・車庫・工場をVRで現場体験しました。普段は目にする事の無い画像を視聴でき、鉄道業界で働く事への選択肢が広がりました。(鉄道サービス科)
- 近江鉄道㈱とタイアップし「貸切列車」のテーマで学生によるプレゼンテーションを行い、4名の方にお越し頂き講評をいただきました。(鉄道サービス科)

#### 【大阪ブライダル専門学校】

職業教育と人間教育を柱としたカリキュラムを提供し、人間力向上に力を入れました。職業教育では、時代の変化に応じ、現状の業界動向を学ぶカリキュラムを取り入れ、企業の協力を得て産学連携プログラムを実施しました。コロナ禍の婚礼現場におけるお客様側・企業側両方の心中を想定した上で、ブライダルの仕事の尊さを改めて認識し、業界人としてあるべき姿を自分事として考え、「人に寄り添う」重要性とそのための技術を身につけさせる指導を行ないました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- ㈱リクルート(ゼクシィ)とのコラボレーションとして、オンラインフェアを企画・提案し、プレゼンテーションを実施しました。業界専門誌であるゼクシィへの提案は学生にとって非常に高いモチベーションとなりました。

- 2年間の集大成として学内にて「ブライダル発表会」を実施し、ブライダル企業の方々を中心に約100名に視聴いただきました。

「ブライダルの新しいカタチ～明るい未来のために～」のテーマで企画・プレゼンテーションを行い、学内選抜を通過した5チームが本選で発表しました。

また、コスチュームショーでは11着のドレスを発表し、ご投票頂きました。

#### 【大阪ホテル専門学校】

宿泊部門の教育は多くのホテルで導入されているオペラ端末を使用して宿泊予約の流れを理解し、料飲部門の教育は接客・接遇コンテストで切磋琢磨してスキルを学び、英語部門の教育はホテルで導入されているオンラインレッスンを導入して、どのようなホテリエになるかという英語プレゼンテーションを実施しています。また、「日常から素敵な人に」というコンセプトに基づき、日常から笑顔・挨拶・前向きな姿など、当たり前のことを当たり前実践し、お客様を感動させるおもてなしのプロの育成に努めました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- 大阪の有名ホテルとタイアップし、ホテルマナー研修を実施しました。業界人（卒業生）講演、施設見学、テーブルマナー講習、宴会研修等を行いました。

協力ホテル：ハイアットリージェンシー大阪、ウェスティンホテル大阪、ホテルニューオオタニ大阪、スイスホテル南海大阪、帝国ホテル大阪

#### 【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパーク科では学生個人の想像力、創作力の向上をはかるべくグループワークの比重を高め、ディベートによる切磋琢磨と相互理解を育みました。語学や手話の授業ではオンデマンドにて学生自身が何度も復習できる有効性を確認しました。

ダンス・エンターテイナー科では、学生個人の動作を撮影して細かなチェック、指導を行なうことにより、高いモチベーション維持と技術の向上に結び付けることができました。卒業生全員が厳しい競争を勝ち抜いてエンターテイナーとして進路が決定しました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- レゴランドジャパンの施設見学会を実施し、人事担当者やOBによる会社説明会を開催しました。実際に働いている先輩の体験談は非常に参考になり、テーマパークで働くイメージを掴むことができました。
- 鈴鹿サーキットとタイアップし、2名の方に来校いただきエンターテイメントショーを学内で開催しました。業界の方を前にしての公演は、自信と課題を得ることができました。

## (2) 主な資格の取得実績

資格名称	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校 大阪	大阪 ブライダル 専門学校	大阪 ホテル 専門学校	大阪 テーマパーク ・ダンス 専門学校
総合旅行業務取扱管理者	9名			
国内旅行業務取扱管理者	21名			
ビジネス能力検定ジョブパス2級	2名		7名	
ビジネス能力検定ジョブパス3級	70名	80名	152名	67名
アマデウスシステム検定 Specialist	24名			
マナー・プロトコール検定2級	11名			
マナー・プロトコール検定3級	4名		135名	
秘書技能検定2級	8名	5名	14名	2名
サービス接客検定2級	10名			
インバウンド接客外国語検定 (中国語飲食)	4名	2名	59名	
インバウンド接客外国語検定 (ブライダル)		6名		
インバウンド接客外国語検定 (英語宿泊)			34名	
インバウンド接客外国語検定 (英語飲食)			72名	
インバウンド接客外国語検定 (英語テーマパーク)				20名
インフィニ検定	10名			
サービス介助士	21名			
TOEIC 900点以上	1名	1名	1名	
TOEIC 800点以上	2名		4名	
TOEIC 700点以上	9名		2名	
TOEIC 600点以上	9名		6名	5名
TOEIC 500点以上	16名		6名	3名
ユニバーサルマナー検定3級		21名		
認定ドレスコーディネーター		44名		
フォーマルスペシャリスト		45名		
ブライダルコーディネート 技能検定3級		145名		
色彩検定2級		2名		
色彩検定3級		47名		

ホテルビジネス実務検定 ベーシック 1 級			22 名	
ホテルビジネス実務検定 ベーシック 2 級			161 名	
レストランサービス技能検定			60 名	
サービス接客検定準 1 級			4 名	
サービス接客検定 2 級			68 名	
ファミリーアドバイザー検定			47 名	46 名
全国手話検定 4 級				4 名
全国手話検定 5 級				79 名

### (3) 奨学金の実績 (4 校合算)

#### 【2020 年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度：対象者：77 名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考：対象者：46 名  
指定高校からの入学推薦者に対する奨学金
- ③ AO 入学選考：対象者 342 名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO 選抜生制度：対象者：29 名  
AO 合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度：対象者 63 名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金：対象者：22 名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金
- ⑦ 沖縄在住者入学優遇制度：対象者 4 名  
沖縄・奄美群島在住者に支給される奨学金

#### 【2020 年度 2 年次生に対する奨学金】

ライセンス奨学金対象者：184 名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

#### 【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金：対象者：35 名

1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年次対象者4名

指定校推薦入学選考：1年次対象者5名

日本語資格取得奨学金：1年次対象者12名、2年次対象者17名

私費外国人留学生学習奨励金：1年次対象者41名、2年次対象者46名

(4) 就職の実績

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	大阪 ブライダル 専門学校	大阪ホテル 専門学校	大阪テーマ パーク・ダンス 専門学校
就職希望者数	110名	84名	125名	91名
就職決定者数	108名	83名	110名	84名
内 関連業界就職者	82名	66名	95名	73名
その他業界就職者	26名	17名	15名	11名

(5) 学生募集 (2021年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	100名	70名	70.0%
	<夜間部> 観光学科	20名	3名	15.0%
	合 計	120名	73名	60.8%
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	80名	69名	86.3%
	<夜間部> ブライダル学科	40名	20名	50.0%
	合 計	120名	89名	74.2%
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	150名	87名	58.0%
	<夜間部> ホテル学科	60名	23名	38.3%
	合 計	210名	110名	52.4%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80名	66名	82.5%
	<夜間部> テーマパーク学科	40名	19名	47.5%
	合 計	120名	85名	70.8%

大阪校合計	<昼間部>	410名	292名	71.2%
	<夜間部>	160名	65名	40.6%
	合計	570名	357名	62.6%

(6) その他

- 昼間部旅行科の企業実習が大阪府私立専修学校専門課程質保証・向上補助金の対象として認定され、補助金440千円を受給することができました。(ホスピタリティツーリズム専門学校大阪)



### 3. その他の主な事業

#### 1) グローバル化の推進

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、米国・シアトル、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力(英語、中国語)・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

##### <シアトル長期留学制度>

2020年度は米国シアトルにある提携校3校を受入先として、当初は105名(2019年度129名)の学生を送り出しましたが、米国における新型コロナウイルス感染症拡大の影響により53名の学生が4月に帰国することになりました。

##### 【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC 平均点	541 点	619 点	593 点
渡航前の平均点	328 点	384 点	359 点
平均上昇点	233 点	234 点	234 点
最高得点	875 点	915 点	915 点
最高上昇点	475 点	410 点	475 点

##### <台湾長期留学制度>

訪日旅行の2分の1が中国語圏(中国・台湾・香港)からの観光客であることから、中国語を話せる人材の育成が求められています。その為、親日国として知られる台湾の国立台湾師範大学と提携して、2018年度入学生から「台湾留学コース」を設置して募集活動を開始し、2020年度長期留学では10名(2019年度は4名)の学生を送り出しました。

東京：留学から帰国した学生3名が、中国語 HSK 検定 5 級(※6 級が最上位級)を取得しました。

大阪：留学から帰国した学生のうち、中国語検定(※1 級が最上位級)の3 級を5 名・4 級を1 名が取得しました。

#### 2) 職業実践専門課程

ホスピタリティ ツーリズム専門学校(東京/観光科、大阪/観光学科)と東京/大阪ブライダル専門学校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。東京校においては観光科以外の全学科も認定申請に向けて準備を進めてきました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

3) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校 2 校、大阪校 4 校）が一昨年に認定され、東京校 111 名（授業料減免額 51,676,900 円）、大阪校 157 名（授業料減免額 61,076,600 円）に修学支援を行いました。

4) SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を教育の現場から育成することが求められています。その為には、まずは教職員が SDGs に関する理解を深め、学校教育の中にどのように取り入れて学生へ指導していくべきなのかを検討する為の具体的な取り組みを学園全体で始めました。

5) 外部監査人による会計監査

内部監査については定期的実施しておりますが、学校法人会計や関連法規等に即した適正な会計処理が行われているかを外部の第三者の専門家（公認会計士）にチェックして頂くことで、学園及び学校としての財務の健全性を確保し、学生・保護者へ安心して学ぶことができる学校として認知してもらう為、外部監査人による会計監査を実施しました。今後も継続的に実施する予定としています。

6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミール City 東中野」、「ドミール City 東中野Ⅱ」を外部業者への一括賃貸方式で運営し、事業用賃貸ビルとして取得した「コーケン関内ビル」を法人向けに賃貸をしています。

3 棟での賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

#### 4. 財務の概要

##### (1) 決算の概要

###### ① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は30億3,725万円、予算比で8,699万円減少し、事業活動支出は25億722万円、予算比で7,744万円減少しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は5億3,004万円、予算比で954万円の減少となりました。

###### 《教育活動収支》

教育活動収入は29億3,658万円、予算比で8,706万円減少し、教育活動支出は25億697万円、予算比で7,769万円減少しました。その結果、教育活動収支差額は4億2,960万円、予算比で937万円減少しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、新型コロナウイルスの影響よりシアトル長期留学を中止して帰国した学生の休学や入学者数が予測数より減少したため、27億8,118万円となり、予算比で8,392万円減少しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者数が予測数より減少したため、1,646万円となり、予算比で510万円減少しました。
- 3) 人件費は、期末業績賞与を支給したため、11億3,182万円となり、予算比で1億5,392万円増加しました。
- 4) 教育研究経費・管理経費は、新型コロナウイルスの影響によるシアトル長期留学を中止した学生の奨学金や現地委託料の減少、国内での課外活動や各種イベント、学生募集における高校訪問ガイダンスが実施できなかったため、合計13億6,099万円となり、予算比で2億4,577万円減少しました。
- 5) 徴収不能額等は、大阪校での2016年度以前の未納学費うち回収不能見込額として1,416万円を引当金計上しました。

###### 《教育活動外収支》

教育活動外収入は9,571万円、予算比で70万円増加し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は9,571万円となりました。

###### 《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は5億2,531万円、予算比で867万円減少しました。

###### 《特別収支》

特別収入は497万円、予算比で63万円減少し、特別支出は25万円、予算比で25万円増加した結果、特別収支差額は472万円、予算比で88万円減少しました。

《基本金組入額合計》

過年度の基本金組入額の修正として6億8,405万円を計上したため、予算比6億6,906万円増加しました。

② 貸借対照表の状況

教育研究用機器備品は、東京校/大阪校での学生管理システム（共同）と学生用パソコンの入れ替えのため、5,566万円増加しました。未収入金は、大阪校での2016年度以前の未納学費の回収、および今後の回収不能が見込まれる分は徴収不能引当金を計上したため、4,282万円減少しました。前払金は学生管理システムの入れ替え導入に伴い、昨年度に前払いにてシステム構築費用を計上したため、3,920万円減少しました。

③ 収益事業の状況

ドミールCity東中野、ドミールCity東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの3棟の賃貸事業に関わるものです。売上高は1億2,699万円、販売費及び一般管理費は6,735万円、営業外収益は27万円となりました。その結果、経常利益は5,990万円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2020年度	全国平均※2	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	91.7	79.7	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	37.3	42.0	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{事業活動収入}}$	44.8	48.3	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	10.2	22.9	低い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 2018年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）

(3) その他

特になし